

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	自殺対策事業										事業コード	030102420318			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	3 こころの健康づくり						
	施策名	1 多世代にわたる精神的不調の予防と早期発見									施策コード	531			
事業担当	所属	15020000 福祉保健部 社会福祉課						所属長	山添 祥代						
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	02 社会福祉支援費		会計	01 一般会計		決算附属資料	114	頁
計画期間	開始年度	令和元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市自殺対策計画				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	自殺対策基本法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市における自殺者数の現状や特性の分析を踏まえ、本市における年間自殺者数がゼロとなることを目指し、自殺対策に関する施策を推進する。					
対象者	市民		対象者数	75,471	単位あたりコスト	-
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,106		7,726		2,202		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,106		7,726		2,202		0						
予算財源内訳	① 一般財源	606		926		0		0						
	② 国支出金	500		0		0		0						
	③ 府支出金	0		3,800		1,101		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		3,000		1,101		0						
決算情報	① 流充用額	△ 31		0										
	② 配当予算	1,075		7,726										
	③ 執行額	1,023		7,266										
	④ 執行率	95.2%		94.0%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.72	/	0.00	1.35	/	0.00	/						
	② 概算人件費	5,760		10,800										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,783		18,066										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	地域自殺対策強化交付金(京都府自殺対策事業補助金)		種類	民生費府補助金		実績金額	3,480		23	頁		
			自殺対策事業基金繰入金(地域福祉基金)			基金繰入金			2,997				決算附属資料	36

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	年間自殺者数	人	22	/	0	13	/	0		/	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	自殺対策研修会	回	0	/	2	2	/	2		/	2
	単位あたりコスト		0.0		511.5		2422.0				
	自殺対策研修会参加者数	人	0	/	40	134	/	40		/	200
		単位あたりコスト	0.0		30.1		36.1				

自殺対策事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	自殺を個人の問題でなく、社会全体の問題として捉え、地域の実情に応じた取組や相談窓口周知の徹底、相談支援体制の構築が求められており、福知山市自殺対策計画に基づき、自殺者数ゼロを目指した施策の推進が必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	地域自殺対策強化交付金(府補助金)を活用し、適正かつ効果的に事務を遂行した。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	厚生労働省の「地域における自殺の基礎資料」に基づき、本市の自殺者数(令和5年11人)を把握している。 ゲートキーパー研修を開催し、「気づき」「傾聴」「つなぎ」「見守り」といった相談・対応が実践できるゲートキーパー養成者数を増やすことで、自殺をしようとしている人の命を1人でも救うことにつながる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	9月の自殺予防週間(「いのちを支える展」(福知山市立図書館))や3月の自殺対策強化月間(福知山城グリーンライトアップ)を中心に自殺予防のための啓発に取り組んだ。 また、令和6年1月には、福知山公立大のカウンセラーを講師として、大学生など30歳以下の若い世代を対象とした「いのちのワークショップ」を開催し、「こころの健康」をテーマにストレスやセルフコントロールの方法を学んでいただく機会とした。 本市の年間自殺者数については、厚生労働省の「地域における自殺の基礎資料」から把握した情報を市町村ごとに公表しており、この数値を活用して評価を行っており、本市の令和5年の自殺者数は11人で令和4年の13人と比べて2名減となった。 自殺者数を減らすため、自殺対策協議会の構成団体である関係機関と連携し、第2次福知山市自殺対策計画に基づき、とりわけ自殺未遂者・自死遺族への支援の取組を進めていくことが課題である。		
改 善 策	令和6年3月に策定した第2次福知山市自殺対策計画(令和6年度から令和10年度)に基づき、自殺者ゼロを目指した自殺予防のための施策を着実にを行い、相談窓口の周知の徹底を行うとともに、自殺対策協議会の構成団体である関係機関等と連携しつつ、PDCAサイクルに基づいて、適切に評価・分析を行い、自殺リスクを減らすための各種取組を進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--